

中国 5 県における発災時の相互支援体制構築に向けた

地域の支援団体育成・強化事業

公募結果

■ 概要

| | |
|-----------|--|
| 選考結果 | 採択 |
| 団体名 | 動物避難所基盤整備コンソーシアム(幹事団体:認定特定非営利活動法人 人と動物の共生センター) |
| 代表者名 | 奥田順之 |
| 申請事業名 主題 | 中国 5 県における発災時の相互支援体制構築に向けた地域の支援団体育成・強化事業 |
| 申請事業名 副題 | 中国 5 県内での担い手の育成と市町村域における連携体制構築で大規模災害時に助け合える体制をつくる |
| エリア/テーマ | 【鳥取県】 B コース:被災者支援専門組織強化枠 |
| 解決すべき社会課題 | 災害支援事業 (3)地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動 ⑦ 地域の働く場づくりや地域活性化などの課題解決に向けた取組の支援 ⑧ 安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援 ⑨ その他 |
| 申請事業の概要 | 本事業は、被災者の中でも、ペットを飼育している避難者が安心して避難できるようにすることを目的に、地域防災の中でペット同行避難を支える人財として、ペット関連事業者を対象に、動物避難所とペット防災啓発窓口を募集・育成し、ペット防災以外の分野の多様な防災団体との接続を行うものである。ペット事業者は、ペットを守ることに繋がる活動に関して社会貢献意識が強く、具体的な活動の方法を提示することで、地域防災の新規参画者になってくれる期待値が高い。地域防災では、同行避難が課題となっていることが多いが、現状では、ペットの専門家の介入は少なく、どうしていいかわからず、具体的なルール作りや、避難場所づくりまで進んでいない。ペットの専門家が地域防災に接続されることで、それぞれの地域の実情に合わせた同行避難の最適解を構築することが期待できる。 |

| | |
|--------|---|
| | <p>【具体的事業内容】</p> <p>①地域防災の中のペット防災の担い手人財の発掘・研修</p> <ol style="list-style-type: none"> 中国5県における、動物避難所設置事業者の募集、および、相談会の開催 中国5県における、ペット防災啓発窓口の募集、および、相談会の開催 登録者に対する、一般防災・減災およびペット防災に関する知識習得のための研修の実施 <p>②ペット防災担い手人財と、地域防災組織・行政をつなぐ活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 本休眠預金事業 A コース採択事業者と、登録事業者の接続・紹介 中国5県各県における、ペット防災先駆者を話題提供者としたワークショップの開催 <p>③発災に備えた避難所開設／避難所支援訓練の実施および飼い主への啓発</p> <ol style="list-style-type: none"> 発災を想定した動物避難所開設訓練、および、関係機関による県域を超えた支援訓練の実施 地域の防災団体と連携した、飼い主向けペット防災・減災啓発活動（ペット防災カレンダー等）の実施 <p>④評価関連項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 地域防災関係者向けアンケート調査の実施 飼い主向け意識調査の実施 評価会議の実施 |
| 事業実施地域 | 中国 5 県の全市町村 |
| 申請事業期間 | (開始月)2023 年 10 月～(完了月)2026 年 2 月 |
| 申請助成額 | 19,041,000 円 【内訳】直接事業費 16,405,000 円、管理的経費 2,170,000 円、評価関連経費 466,000 円 |

■ 審査コメント

- ✓ 事業にはニーズがあり、団体には実績がある。ただ、団体の鳥取支部は2名で、開設されて間もないとのことなので、既存事業含めてしっかり回していけるのかよく確認をしてほしい
- ✓ ペットを連れた避難は、近年の災害の多発を受けて、ペットを飼っている人は気になっていること。中国地方から全国に波及していくのであれば期待したいし、評価したい
- ✓ ペット関係者と災害関係者の接点が少ないという課題は同じく感じており、キーになる
- ✓ 岐阜の団体が初めて持った支部が鳥取ということ。今回の事業が中国 5 県を中心に展開されるということが確認できた
- ✓ 他の申請団体にも共通して、行政の巻き込み・災害関係者との接点づくりは中国 5 県コンソーシアムがフォローする前提とのことなので、連携して進めてもらいたい